

行動規範改訂にあたっての Global CEO メッセージ

ブリヂストンの創業者である石橋正二郎氏は、「単に営利を主眼とする事業は必ず持続性なく滅亡するものであるが、社会、国家を益する事業は永遠に繁栄すべきことを確信するものである」という事業観を持っていました。この信念が、ブリヂストンの使命である「最高の品質で社会に貢献」の基盤となっています。このような、ブリヂストンの使命を起点とする企業活動は、ブリヂストンと私たち一人ひとりの現在と将来の成功に繋がっています。

行動規範は、ブリヂストンが直面するリスクに適切に対応するとともに、一つのブリヂストンとしてのさらなる進化、発展に資するため、2018年にグループ共通の規範として制定されました。グローバル贈収賄防止ポリシー、グローバル人権方針、およびブリヂストンで制定されている他の多くのグローバルおよび各地域のポリシーとともに、私たちが日々のビジネス・業務において正しい行動を取り、使命を果たすための手助けとなっています。時が経つにつれ、徐々に浸透し、チームメイトの皆さんの意識と感度が上がり、結果として、組織全体でリスク低減の効果が出ているものと感じています。皆様のご協力に感謝します。

私たちは現在、激動の時代に生きています。COVID-19によるパンデミック、各国のパワーバランスの変化に伴う地政学リスク、地球温暖化を含む環境問題やそれに起因すると言われている大規模自然災害の多発等、直面している変化は枚挙にいとまがありません。

そのような激動の時代において、「最高の品質で社会に貢献」を不変の使命とし、2020年に掲げたビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」の下、未来からの信任を得ながら経営を進める軸と進むべき方向性を示すベクトルとして、2022年3月に企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」を制定しました。そして、これに基づき、常態化する変化に動じず、強靱でしなやかに変化をチャンスに変えるレジリエントな“エクセレント”ブリヂストンへ変革するための道筋を、同年8月に「2030年 長期戦略アスピレーション（実現したい姿）」として明示しています。この道筋に沿って進化を続けていくことが、人とモノの移動を支え続けること、ブリヂストンの使命を果たすことにつながります。

ブリヂストンがそのような進化を続けていくためには、私たちは、あらゆる場面において倫理的かつ誠実に行動することによって、未来からの信任を獲得しなければなりません。そして、そのための基盤となるのがブリヂストンらしく誠実に行動するということであり、具体的なガイダンスとなるのが行動規範である

ということは、今後も変わりません。

行動規範は、2018年の発行以降チームメイトの皆さんの日々の行動の指針となってきましたが、4年が経過し、その間に「Bridgestone E8 Commitment」の制定や「グローバル人権方針」の改定を含めた様々な変化がありました。これらに加え、チームメイトの皆さんからいただいたご意見、ご質問を踏まえ、一部内容のブラッシュアップを行いました。

チームメイトの皆さんは、改めて行動規範に目を通し、日々の業務で上手に活用してください。そして、行動規範の「文言」だけでなく、その「精神」と、使命を基盤としたブリヂストンの価値観も指針とするようにお願いします。世界中のブリヂストンのリーダー、基幹職、職長・主任等管理監督者は、行動規範に命を吹き込み、チームメイトの皆さんが日常の活動において行動規範を理解し、実践するために、果たすべき重要かつ特別な役割を担っていることを忘れないでください。

最後に、ブリヂストンにおいては常に行動規範を指針とし、誠実さをもって行動するようお願いします。

取締役 代表執行役 Global CEO 石橋 秀一